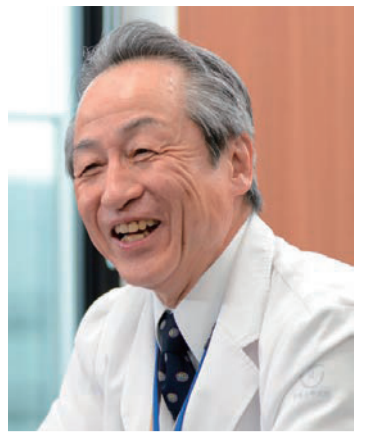




平成30年度の徳島大学病院基幹型卒後臨床研修には、従来のプログラムに加え新しくメディカルゾーン重点研修プログラム(定員3名)が加えられました。マッチングの結果、フルマッチでしたので大変嬉しく思います。このメディカルゾーン重点研修プログラムは、隣接する徳島県立中央病院との連携を主軸として、両病院を自由に行き来しながら研修するというユニークなもので、この一体化研修の成果が上がれば、今後の総合メディカルゾーン発展にも大きく寄与することになると思います。

徳島大学病院では、魅力ある初期研修プログラムを提供し、心優しいスタッフたちがきめ細やかに指導しお世話をしていますが、研修プログラム以上に大事なのは各人の志と自主性、積極性です。医師は患者さんやご家族、医療スタッフと積極的にコミュニケーションをとり、自ら学び、経験を積むことで成長していきます。どうか初心を忘れず、いろいろな経験を積んで2年後には大きく成長してください。

共に徳島大学病院で働き、研修し、医療・医学に貢献しましょう。



病院長 永廣 信治

平成30年度徳島大学病院 プログラム説明会(初期研修・専門医研修)

2017年6月24日(土)大塚記念講堂にてプログラム説明会を行いました。第一部では、全国の様々な協力病院にて研修を行った当院の2年次研修医である荒瀬美晴先生(徳島県立中央病院・徳島県立海部病院)・岩橋祥子先生(日本赤十字社和歌山医療センター)・久保友紀子先生(枚方公済病院・徳島市民病院)・高島拓也先生(徳島赤十字病院・日本医科大学付属病院)・田村暢章先生(徳島市民病院・高知赤十字病院)・西山美月先生(徳島県立中央病院・徳島県立三好病院・日本医科大学付属病院)・福田喬太郎先生(愛媛県立中央病院・つるぎ町立半田病院)・宮武亜希子先生(岡岡病院)の8名が、臨床研修内容に関し楽しく説明した後、パネルディスカッションを行い学生さんからの質問に親身に答えていました。第二部では、徳島大学病院・協力病院による合同説明会をブース形式で行いました。徳島大学・他大学合わせて92名の参加があり、非常に活気のある会となりました。参加者には、マッチングを間近に控えた5・6年生だけでなく、2年生や3年生もおり、初期研修や新専門医制度に対する関心の高さが伺われました。また後期研修を希望する他病院からの研修医もおり、様々なニーズに応えられる有意義な会となりました。来場された皆様全員と来年の春から徳島大学病院で共に働けることを願いつつ、学生さんや研修医の皆様によりよい研修プログラムを提供できるよう努力して参ります。



研修プログラム説明会(大塚講堂)
右上/[第一部]研修医による体験談プレゼンテーション
左上・下/[第二部]合同説明会(ブース開設)
右下/懇親会(蔵本会館)

学生・研修医のための キャリアデザインセミナー

キャリア形成支援センターとの共催で、厚仁会のご支援の下、2017年9月26日(火)に日亜メディカルホールにて、学生・研修医のためのキャリアデザインセミナーを開催致しました。今年も素晴らしい3名の先生方に、医師としてのキャリア形成に関しご講演をいただきました。講演終了後は引き続きレストランSoraにて懇親会を行いました。学生さんや研修医が、講師の先生方を取り囲んで熱心に質問をしていました。医師としてのキャリアを形成する上での参考になればと思います。ご講演をお引き受けいただきました3名の先生方にはこの場をお借りして御礼申し上げます。



セミナーに多職種の方々が参加



Soraでの懇親会

- 徳島大学病院 整形外科 科長 西良浩一先生
「ナンバーワンよりオンリーワン
～若手医師へ送るVSOP～」
- 徳島赤十字病院 病理診断科 副部長 山下理子先生
「Pathology is Medicine, and My life.」
- 徳島大学病院 周産母子センター・小児科 助教 須賀健一先生
「HAPPYな小児科医が多い理由」

研修医教育講座& スキルアップセミナー

研修医への教育の一環として、各診療科の先生方にご協力いただき、手技的なことに関しては、年10回の研修医教育講座で、知識的なことに関しては、年10回のスキルアップセミナーで教育を行っております。何れの回も研修医だけでなく、学生・院内他科医師・他院からの先生方を含め、20～40名の参加者があり、熱気のある会となっております。本年度は、新たに徳島県立中央病院と共同のメディカルゾーンセミナーを計2回予定しております。ご協力いただいております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げますと、来年度以降に関しましては、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

(内容に関しましては、卒後臨床研修センターのホームページをご参照ください)



第1回メディカルゾーンセミナー

来年度から開始される徳島県メディカルゾーン重点研修に先立ち、2017年9月25日(月)徳島県立中央病院と合同で第1回メディカルゾーンセミナーを開催致しました。両病院より、それぞれ1名の講師の先生にご講演いただきました。今回が、初めての合同開催でありましたが、両病院より指導医・研修医だけでなく、多職種から多数のご参加をいただき盛況となりました。これからも両病院がお互いに協力し研修医を育てることが出来ればと思います。

第1回メディカルゾーンセミナー
(第5回徳島大学病院スキルアップセミナーを兼ねております。)

日時: 2017年9月25日(月) 19:00~20:00
場所: 徳島県立中央病院 3階講堂

講演
1「プロブレムリストを作ろう」
徳島県立中央病院 総合診療科 市原 新一郎先生
2「脳卒中患者の神経所見の取り方」
徳島大学病院 脳卒中センター 兼松 康久 先生

医療のエキスパートをめざして! - キャリアデザインセミナー -

2017年11月24日(金)医学部4年生の授業の一環として、今年度も、「医療のエキスパートをめざして!-キャリアデザインセミナー-」を開催致しました。様々な診療科の指導医や研修医の方にご参加いただき、それぞれの先生のキャリアを他己紹介の形式で学生さんに発表していただきました。この授業を通じて学生さんと指導医・研修医が互いに知り合い、2018年1月からのクリニカルクラークシップが実りあるものになればと思います。



研修医紹介 現在、徳島大学病院で研修中の研修医

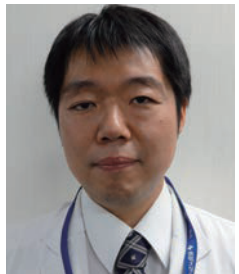
1年次研修医

岩城 真帆 志村 拓哉 平岡 淳一郎
 大西 一 竹内 峻亮 山口 純代
 岡田 衣世 辻本 賀美 山下 貴央
 喜田 有佳里 豊田 直人
 清水 郁子 中野 睦基

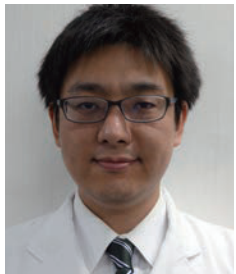
2年次研修医

荒瀬 美晴 福田 喬太郎
 岩橋 祥子 松本 唯
 遠藤 ふうり 宮武 亜希子
 久保 友紀子 Robert Zheng
 高島 拓也 武田 明日香

前回のニュースレター発行後に戻ってきた研修医です



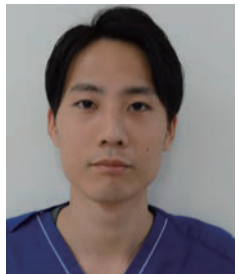
上田 浩之 (2年次)
 自己研鑽を怠らず、常に患者に寄り添う医師になりたいと思います。よろしくお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。



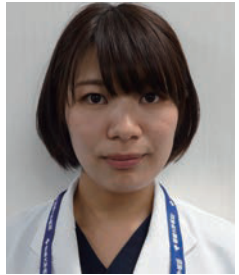
岡本 恵暢 (2年次)
 約一年間外部で研修させていただきました。今後とも指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



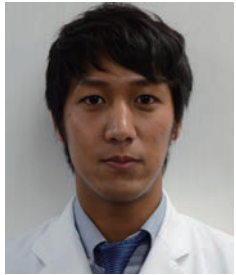
杉峯 優人 (2年次)
 2年間の研修の締めくくりができるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



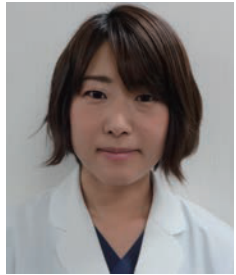
田村 暢章 (2年次)
 短い間ですが、頑張りますので、よろしくお願い致します。



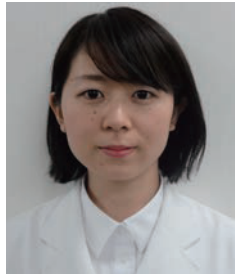
山本 綾香 (2年次)
 何事にも積極的に一生懸命取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



山本 清成 (2年次)
 何事にも積極的に取り組み、向上心を持ち続けたいと思います。家庭も大切にします。



岩脇 文香 (1年次)
 9月から大学で研修させていただきます。一生懸命頑張りますのでご指導よろしくお願いいたします。

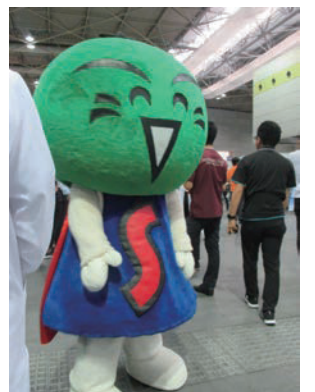


森木 冠奈 (1年次)
 医療スタッフの一員としてお役に立てるよう、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

レジナビフェア

2017年7月2日(日)に大阪にて、7月16日(日)に東京にてレジナビフェアが開催され、徳島大学病院も徳島県臨床研修協議会の一員として県内の様々な研修病院の指導医の先生方や研修医と共に参加致しました。徳島県出身の医学生の方を中心に多くの学生さんに来場いただき本当にありがとうございました。

実際にプログラムに関してお話ししてみると、「こんなことは初めて聞いた」とのお返事が多く、直に研修プログラムの説明をすることの重要性を痛感しました。

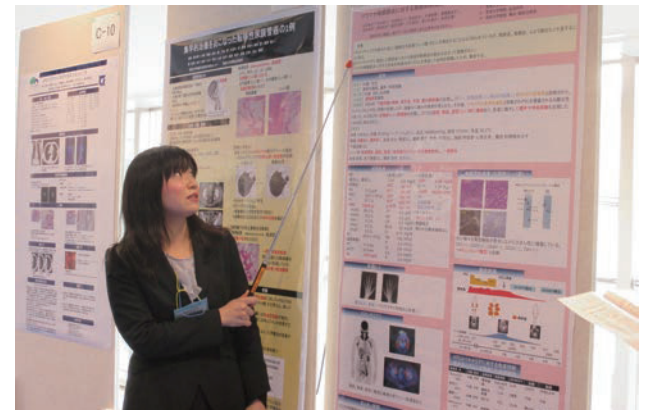


徳島県のマスコット「すだちくん」



徳島医学会学術集会

2017年8月6日(日)に徳島県医師会館にて第255回 徳島医学会学術集会が開催されました。各診療科の指導医の先生方に熱心にご指導いただき、2年次研修医6名、1年次研修医5名の計11名の研修医が発表を行いました。1年次研修医 山口純代先生が若手奨励賞を受賞致しました。ご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



若手奨励賞 1年次研修医 山口純代先生(血液内科)
 「リウマチ様関節炎に対する免疫抑制療法中に発症した成人T細胞性白血病/リンパ腫の1例」

徳島大学病院 研修医奮闘記

巣立ちの季節

2年次研修医 福田喬太郎先生

(AWAすだちプログラム:徳島大学病院・愛媛県立中央病院・つるぎ町立半田病院(地域医療研修)にて研修)

研修医生活が始まって1年半が経ちました。半年後からは専攻医となりますが、まだまだわからないことも多く毎日新しい知識や手技を身につけたい、という気持ちで研修に臨んでいます。

私は地域枠学生であり、研修医の期間に徳島県外の医療を見てみたい、という思いもあったことからAWAすだちプログラムのある徳島大学病院を選択しました。県外での研修病院を迷っていた際に卒後臨床研修センター 副センター長の西 京子先生に「あなたは愛媛県中よ!」という言葉をいただいたこともあり1年目の1年間を愛媛県立中央病院で研修することになりました。病院見学もせず、徳島出身で実家さえ出たことのない私は、研修が始まるまで「愛媛でやっていけるのだろうか」と不安な気持ちでいっぱいでした。

卒業後、愛媛での研修生活が始まりました。研修医となった初日に脊椎麻酔をさせていただいたことを今でも鮮明に思い出します。処方箋や指示出し、ルート確保、気管挿管など、毎日が初めてづくでした。失敗することもたくさんありましたが、指導医の先生方やスタッフの方々から優しく、時には厳しく指導していただきました。さまざまな症例を経験でき、各診療科や救急当直で学んだことはかけ

がえのない財産となりました。そして、先生方や同期をはじめ素晴らしい出会いもありました。西先生の、あのお言葉がなければ経験できなかったのかもしれない。充実した1年間を過ごすことができ、愛媛に行きつて本当に良かったです。

2年目となり大学病院に帰ってきました。市中病院との違いに戸惑うこともありましたが、愛媛で学んだことを少しずつ実践できるようになってきたと実感しています。また、先生方の研究データのお手伝いをしたり、隣接している県立中央病院へカンファレンスや手術見学に行ったりと徳島大学病院でしかできない経験もさせていただきました。研修医の2年間に大学病院や市中病院の雰囲気や体感でき、研修ローテーションをオーダーメイドできる自由度の高い研修はAWAすだちプログラムならではの研修だと思います。

1年半はあっという間でした。振り返ってみれば、楽しかった思い出や怒られた思い出など走馬灯のように蘇ってきます。いろんな経験ができる病院、それは徳島大学病院だと思います。どの研修病院を選択しても自分次第でどんな方向にも変わってきます。学生のみならず、徳大でいろんな経験を積んでみませんか。1人でも多くのみな

さんが徳島大学病院を研修病院として選んでくれること、そして、一緒に徳島の医療に貢献していくことを願っています。



「つるぎ町立半田病院での研修中の1コマ(右端が筆者)」

医員募集

平成30年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、平成30年度の医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

平成30年度の医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、平成30年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れず)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	平成30年1月12日(金)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp http://www.careercenter-dr.jp/index.html

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。新しい研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修に興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページ
<http://www.tokudai-sotsugo.jp>
 にアクセス頂けますと幸いです。

■ニュースレターに関する御意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
 Tel: 088-633-9359
 Fax: 088-633-9358
 E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
 URL: <http://www.tokudai-sotsugo.jp>

徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒業臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
伊勢 孝之 isetaka@tokushima-u.ac.jp
(卒業研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、肺炎、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌の治験・臨床試験に積極的に参加し、膠原病や間質性肺炎などの診療でも県内で中心的な役割を果たしています。国内外への留学による研修等を通じ常に総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 豊田 優子 yktoy@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
http://www.sannai.umin.jp/

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では、消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝癌に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。



連絡先 岡本 耕一 nontarou@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

腎臓内科

(科長 土井 俊夫)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理の3つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、術前術後を含めた透析管理を研修していただきます。当科での取得可能専門医:総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医。

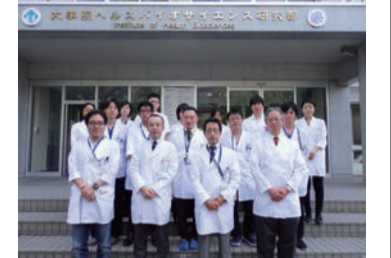


連絡先 土井 俊夫 doitosho@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7184 fax.088-633-9245
http://www.tokudai-kidney.jp/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌腺が産生するホルモンは多彩な臓器の機能調節に関わり、その調節異常による代謝異常症には糖尿病、脂質異常症、痛風、骨粗鬆症など頻度の高い生活習慣病が多く含まれます。したがって、内分泌・代謝疾患では、全身のホルモン標的臓器の統合的な診断・治療が必要です。当科では、内分泌・代謝疾患患者の診療を通じて、臨床医として必要とされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして適切な治療方針の立案能力を身につけた医師を育成しています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理ができるバランスのとれた医師の育成を目指しています。



連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://square.umin.ac.jp/TUBioReg/index.html

神経内科

(科長 梶 龍児)

かつては「わからない・おならない」と揶揄された時代もあつたらしいのですが、時代はダイナミックに変わっております。頭の先から指の先までの神経の症状、神経難病、脳卒中(SCU)から日常遭遇する一般的な症状(頭痛・物忘れ・手足のしびれ感)に至るまで「治る神経内科」を実践しております。専門医の高合格率にも定評があります。国内・海外への留学実績も豊富です。

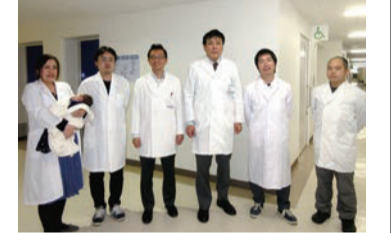


連絡先 和泉 唯信 yizumi@tokushima-u.ac.jp
瓦井 俊孝 tkawarai@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

総合診療部

(部長 谷 憲治)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目まぐるしくなっています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度からスタートする新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 大倉 佳宏 ookura.yoshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
http://www.tiiki.umin.jp/

心臓血管外科

(科長 北川 哲也)

心臓血管外科医は、「自分の知と腕」をもって、病む患者さんの生きようとする力を支えてあげることのできる、やりがいのある仕事です。暖かい心と勇気を持ち、夢と情熱のある方は、当科で専門医研修をしませんか。君たちの想いに応えます。現代の社会環境でこそチャンスです。
“Chance favors only the prepared mind!!”次代を担うのはあなたです。

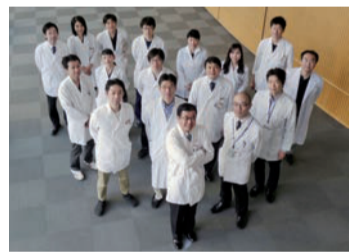


連絡先 北川 哲也 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
http://www.toku-cvs.umin.jp/

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 丹黒 章)

確かな技術を備えた外科医を育てることをモットーとしています。「確かな技術」とは、手術のテクニックのみならず、正確な診断、適切な手術適応の決定や、周術期の全身管理、初期治療から緩和治療まで、あらゆる治療に精通することを意味しています。全ては患者さんのためであり、それらの技術習得に必要な環境が私たちの教室には揃っています。「目の前の患者さんを自分の技術で治したい」。そんな熱く、優しいハートを持った若いドクターよ、集まれ!



連絡先 吉田 卓弘 tyoshida1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、膿胸、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌手術はほぼ全例完全胸腔鏡下手術で行い、質の高い手術を提供できるようにスタッフは日々研鑽を積んでいます。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると幸いです。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、新専門医制度に対応した診療拠点病院、教育関連施設で研修を行うため症例も多く、充実した研修が行えます。関連病院には、透析認定施設も多く、透析専門医の習得も可能です。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等のspeciality領域の認定医習得ができます。また、泌尿器科では、ロボット支援手術を積極的に行っており、大学を含めた7施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学も可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

「拡大切除・機能喪失から低侵襲・再生外科へ」をスローガンに肝胆膵外科領域では高難度手術、集学的治療、生体肝移植を行っており、肝胆膵外科高度技能修練施設Aに徳島で唯一認定(高度技能専門医を4名擁しており、日本でもトップクラス)されています。消化管外科では胃癌手術の6割、大腸癌手術の8割で鏡視下手術を行っており、5名の内視鏡外科技術認定医が執刀・指導を行っています。また中国四国では初めて肥満に対する減量手術を腹腔鏡で行っております。鏡視下アミラルボを含む研修プログラムも用意しており、積極的に若手医師が執刀できる環境が整っております。

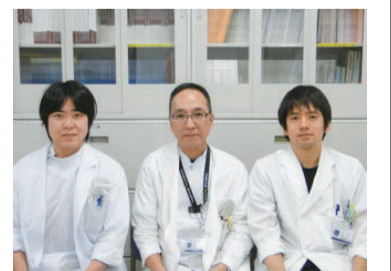


連絡先 東島 潤 higashijima.jun@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療:四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術:小児単径ヘルニアに対するLPEC法の小児、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定(小児外科)を取得しています。

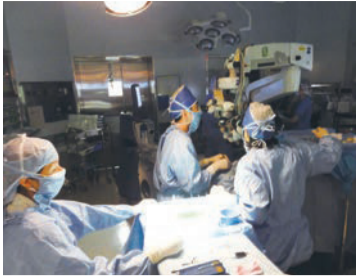


連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜炎、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、独自の小切開硝子体手術器具を考案し質の高い網膜硝子体手術を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 江川 麻理子 egawa.m@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、14人で毎日平均70人の外来患者、14人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。



連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
松立 吉弘(総務医長) y.matsudate@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

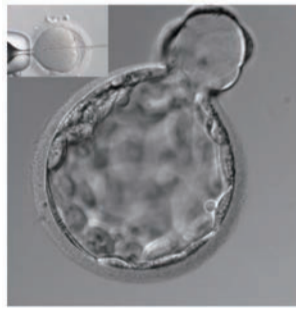


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

産科婦人科

(科長 苛原 稔)

現在医局員は、苛原稔教授をはじめとして24名。診療面では生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、どの部門も全国でトップレベルの成績です。分娩数は年間709件、手術件数は639件(平成28年度)。研究面では5つの研究班に分かれて、基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生、初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある人は是非連絡下さい。



連絡先 苛原 稔 irahara@tokushima-u.ac.jp
加藤 剛志 kato@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

救急集中治療部

(部長 西村 匡司)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・血液浄化などに関する幅広い知識・技術と、病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、呼吸不全、循環不全、重症感染症や小児開心術後など、様々な患者の診療を通してそれらの知識や技術、判断力を身につけることができます。全身管理・重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://sv01.inter-bus.jp/~toku_icu/

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 武田 憲昭)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 北村 嘉章 ykitamura@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

当科は、新専門医制度の基幹病院です。専門研修プログラムでは、連携施設が徳島県に4施設(県立中央病院、徳島赤十字病院、鳴門病院、田岡病院)、香川県に2施設(高松市民病院、四国こどもとおとなの医療センター)、愛媛県に2施設(松山赤十字病院、HITO病院)、高知県に2施設(高知赤十字病院、高知医療センター)と四国4県の中核病院にあります。総症例数は9000例を超えており専門医取得に必要な症例を経験できます。



連絡先 石田 創士 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
http://plaza.umin.ac.jp/tokudakeisei/academic_greeting.html

精神科神経科/心身症科

(科長 大森 哲郎)

今、精神科医が求められています。精神科の敷居が低くなり受診者が増え続ける現状に加え、教育や行政からのニーズも激増しております。精神科は非常に守備範囲の広い診療科です。自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、その他の研修施設にも信頼できる指導医を要し、指導体制を充実させています。精神科医になるなら、ぜひ徳大精神科での研修を！



連絡先 中瀬 理仁 nktk@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視)、IVR(血管内治療、CTガイド下生検など)を行っています。現代の医療において画像診断は必要不可欠です。全国トップクラスの検査装置、画像診断システムに恵まれた環境のもと、最先端の医療に携わってみませんか。研究においても各々の分野で多くの臨床研究を行っています。また、家庭を持った女性医師でも働きやすい環境作りにも努めており、そのような女性医師の入局も歓迎です。



連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線 9283) fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

リハビリテーション部

(部長 加藤 真介)

リハ科は基盤診療科の中で充足率が最も低い一方、高齢化により必要性はますます高くなっている診療科です。専攻医研修は、徳島県では徳島大学大学院プログラムのみですが、リハ専門の徳島病院、回復期リハ病棟や関連施設を持つ一般病院から構成され、総合的に研修できるプログラムです。リハ医学は患者の生活に直結し、ロボットリハなど新たな世界が広がっています。私たちと一緒に新たな地平線を拓きましょう。



連絡先 加藤 真介 skatoh@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことができません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、一人前になるのに少々時間はかかりますが、誰でも努力すれば一流になりえるところが魅力です。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手術、脳血管内治療について学べるシステムを提供しております。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に付けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップいたします。



連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhiisa.1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464
http://www.tokushima-nougeka.com/

小児科

(科長 香美 祥二)

「子どもの健康を守ることでできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしています。

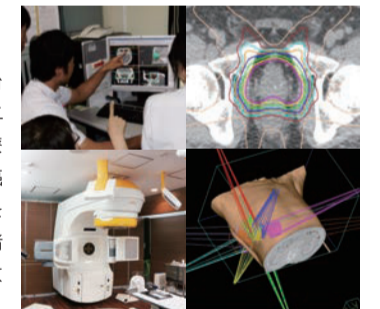


連絡先 渡辺 浩良 hwatanabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は、3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌と子宮癌に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に700人以上の新規患者を受け入れている国内でも有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携し集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。



連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしています。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp